

牡蠣からとりだした＜医薬品＞カルシウム剤

MCカルシウム

＜カルシウム主薬製剤＞

〔特 徴〕

MCカルシウムは、吸収のよい天然のカキの殻（ボレイ）を使用したカルシウム剤です。カルシウム（Ca：40.08）として、1日量（3錠）中約700mgが含まれます。

また、カルシウムの吸収を助けるアミノ酸（塩酸リジン）と胆汁酸成分（ウルソデオキシコール酸）を配合しました。



使用上の注意

相談すること



1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
・ 医師の治療を受けている人。
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹
消化器	食欲不振、胃のもたれ

3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
便秘
4. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

〔効能・効果〕

● 次の場合の骨歯の発育促進：虚弱体質、腺病質*

● 妊娠授乳婦の骨歯の脆弱防止

*「腺病質」とは貧血などになりやすい虚弱・無力体質を指します。

〔用法・用量〕

年 齢	1回量	用 法
成人（15才以上）	3錠	1日1回服用してください。
11才以上15才未満	2錠	
5才以上11才未満	1錠	
5才未満	服用しないでください。	

＜用法や用量に関する注意＞

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 定められた用法、用量を守ってください。

〔成 分〕 1日量（3錠）中

ボレイ末 1840mg

塩酸リジン 120mg

ウルソデオキシコール酸 10mg

添加物として、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910、酸化チタン及びカルナウバロウを含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

（必ず裏面もお読みください）

カルシウムは骨や歯にとってきわめて大切な成分ですが、日本人はカルシウムの摂取が不足していると言われています。
カルシウムの摂取が充分でないと骨のカルシウム量が減少し、骨がもろく折れやすくなります。そのため日頃から十分なカルシウムを摂取するように心がけることが大切です。妊娠・授乳期は、胎児や乳児へのカルシウム補給のため、母親の骨や歯の脆弱防止のために、カルシウムが多く必要となりますが、食事のみでカルシウムの必要量を摂取するのはなかなか難しく、不足分をカルシウム剤などで補給することが必要です。



カルシウムの食事摂取基準 (mg/日)

性 別 年 齢	男 性			女 性		
	目安量 (AI)	目標量 (DG)	上限量 ² (UL)	目安量 (AI)	目標量 (DG)	上限量 ² (UL)
6～7才	600	600	—	650	600	—
8～9才	700	700	—	800	700	—
10～11才	950	800	—	950	800	—
12～14才	1000	900	—	850	750	—
15～17才	1100	850	—	850	650	—
18～29才	900	650	2300	700	600	2300
30～49才	650	600	2300	600	600	2300
50～69才	700	600	2300	700	600	2300
70才以上	750	600	2300	650	550	2300
妊婦 (付加量) ¹				+0	—	—
授乳婦 (付加量) ¹				+0	—	—

(「日本人の食事摂取基準 (2005年版)」より抜粋・改編)

目安量 (AI, Adequate intake)

ある性・年齢階級に属する人々が、良好な栄養状態を維持するのに十分な量。
(特定の集団において不足状態を示す人がほとんど観察されない量。)

目標量 (DG, Tentative dietary goal for preventing life-style related disease)

現在の日本人が当面の目標とすべき摂取量。

上限量 (UL, Tolerable Upper Intake Level)

ある性・年齢階級に属するほとんど全ての人々が、過剰摂取による健康障害を起こすことのない栄養素摂取量の最大限の量。

- 1: 付加量は設けないが、目安量を目指して摂取することが進められる。妊娠中毒症等の胎盤機能低下がある場合は積極的なカルシウム摂取が必要である。
- 2: 上限値は十分な研究報告がないため、17才以下では定めない。しかし、これは、多量摂取を勧めるものでも、多量摂取の安全性を保証するものでもない。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
TEL 03-3661-2080 (ダイヤルイン)
月～金曜日 9:00～17:00 (祝祭日を除く)

製造販売元
ゼリア新薬工業株式会社
東京都中央区日本橋小舟町10-11



A06
MCカルシウム